

大塚研「瀬戸内海西部におけるベントスの分布調査」において、北九州市立自然史歴史博物館と共催で平成 29 年 8 月 2 日に豊潮丸の一般公開を戸畑港で実施しました。

海洋基本法が制定され、海洋教育を発展させることが政府の方針として打ち出されています。そこで海洋環境・生物の教育研究を担う大学附属の練習船などを一般市民は見る機会もほとんどないこともあり、北九州市立自然史歴史博物館と共催で 8 月 2 日、戸畑港で一般公開を実施しました。

夏休みであることから親子 20 名が参加し、1340～1500 まで船内の施設、観察・採集器具類、生物標本（カブトガニ、深海生物、大型貝類、クラゲ類と共生生物などを展示）などを見学してもらいました。参加した父母も熱心に話を聞いてくださり、小学生の中には感嘆の声をあげている男の子もいました。

参加者には生物生産学部パンフレット、豊潮丸パンフレット、カブトガニ保全パンフレット、海洋生物下敷きをプレゼントしました。特に、福岡県民には曾根などに生息しているカブトガニの生息を周知し、保全に理解を示してもらうように説明を工夫しました。船内施設の説明は中口船長、山口氏ほか乗組員の方々が実施されました。心より感謝申し上げます。

(一般公開の様子)

